題材名・単元名	学部	授業名(主たる教科領域)	授業者
いろいろな線を書こう	IJ \	グループ学習 低学年ゆり (国語)	

<ねらい>

- 教師の意図に気付いたり、意図を受け止めたりして、いろいろな線を書く。指筆や毛筆を使って書くことに気持ちを向け、書くことを楽しむ。書いたことに達成感を味わう。

 ・ 数師のなど、ころら欲にきるがいりに言ってを簡したいのにからますがいった。 ・ 数師のなど、ころのロー持 ・ 数師のなど、ころののいたのは、などにをを関する。 ・ をもるカニせ、、 をりきるに、といくロカい は能であれたり、ことでを対し、どにをを関する。 ・ をもるカニせ、、 をりきない、「ロカい は能であれた」にで、 をりまなに、 といのはた価にが立るを表し、 を見した。	学習内容	学習活動	指導上の留意点・準備物
語・	・あいさつ、呼名	目のグループ学習を始めます。」	
・	・絵本『せんをひく』 読み聞かせ	指でなぞったり、注目して見たり	(福音館書店) でるでは、にかられる。 であるでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これでは、これ
きたら、教師が種類の違う線を提示し、再度取り組む。・書き終えた児童に取り組む。・書きなたに見童には拍手といるできるなどにとを評価する。・まとめ・それぞれの児童の作品を紹介し、良いところや頑張ったところを改めて評価する。・教師に注目し、「これで2時間目のグループ学習を終わります。」が高まって終われるように	線を書こう	では、 ・見本の書き方に注目し、 ・見本の書き方に注目を ・見本を書き方がある児童は、 ・書きたい気持ちがある児童は、 ・書きたいに何本もまでました。 ・まであるまで書く。	紙サイズの障子紙 ・教師が開立を見せる ・教師が見立いた大きの というではいたができる。 でではいる でである。 ・児童の表情に注目し、書く
とあいさつをする。 する。	・まとめ	きたら、教師が種類の違う線を提示し、再度取り組む。 ・それぞれの児童の作品を紹介し、良いところや頑張ったところを改めて評価する。	児童からになる。 にまする。 にまする。 にまする。 にはたです。 にはたです。 にはたです。 にはたです。 にはいる。 には、 にはいる。 には、 にはいる。 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、 には、

- ◇内容 (エ夫点など) >
 ・いろいろな線を書くことで運筆や文字への興味につながると考え、今回の題材を設定した。絵本を指でなぞることとつなげて運筆ができるように今回は指筆(高等部より借用)を使用した。
 ・長半紙サイズの障子紙は下写りしないように予め新聞紙に貼って何枚も用意しておき書き終えた後にすぐに交換できるようにした。
 ・絵本に書かれているオノマトペをみんなで言うことで、角や曲線などを書く意識が高まったように思う。また、今回は大きく腕を動かせるように、ホワイトボードの障子紙を貼って書くことにした。
 ・児童の実態に合わせて、初めから最後まで角や曲線を意識して書き続ける児童、初めだけを意識することをねらう児童など、課題設定を検討しながら取り組んだ。

- <良かった点・改善点 (児童生徒の反応を含め) > ・音声や体を使って書くことでより書くことに気持ちを向けて取り組むことができた。・書きたいものを書く、書けるようになる喜びを味わえるよう、どんな工夫をすれば良いか、集団や児童の実態に合わせて今後も検討していきたい。